

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「米国短期ハイ・イールド債券オープン」は、  
このたび、第17期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に  
米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券  
に実質的に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と  
安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告  
申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し  
上げます。

### 第17期末(2022年3月25日)

基準価額	11,201円
純資産総額	10,410百万円
第17期	
騰落率	7.6%
分配金(税引前)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみな  
して計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示  
しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項の  
うち重要なものを記載した書面です。その他の内容  
については、運用報告書(全体版)に記載しており  
ます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書  
(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法により  
ご提供する旨を定めております。運用報告書(全体  
版)は、岡三アセットマネジメントのホームページ  
にて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求  
により交付されます。交付をご請求される方は、販  
売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファン  
ド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)  
を閲覧およびダウンロードすることができます。


# 米国短期ハイ・イールド債券 オープン

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2021年9月28日～2022年3月25日

## 交付運用報告書

第17期(決算日 2022年3月25日)

 **岡三アセットマネジメント**  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]  
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2021年9月28日～2022年3月25日)



期 首：10,575円

期 末：11,201円 (既払分配金 (税引前)：180円)

騰落率： 7.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2021年9月27日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

**(主なプラス要因)**

- アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）
  - ・期を通じて安定的な利息収入を獲得できたことなどがプラス要因となりました。
  - ・業種別では、石油精製&販売、金属／鉱業（除く鉄鋼）等のセクターがプラス要因となりました。
  - ・為替市場において米ドルが対円で上昇したことが、プラス要因となりました。

- 日本マネー・マザーファンド

・特にありません。

**(主なマイナス要因)**

- アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）
  - ・業種別では、レストラン等のセクターがマイナス要因となりました。

- 日本マネー・マザーファンド

・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことがマイナス要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月28日～2022年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	72 (29) (41) ( 2 )	0.664 (0.270) (0.378) (0.016)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 1 ) ( 0 )	0.007 (0.007) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	73	0.671	
期中の平均基準価額は、10,861円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

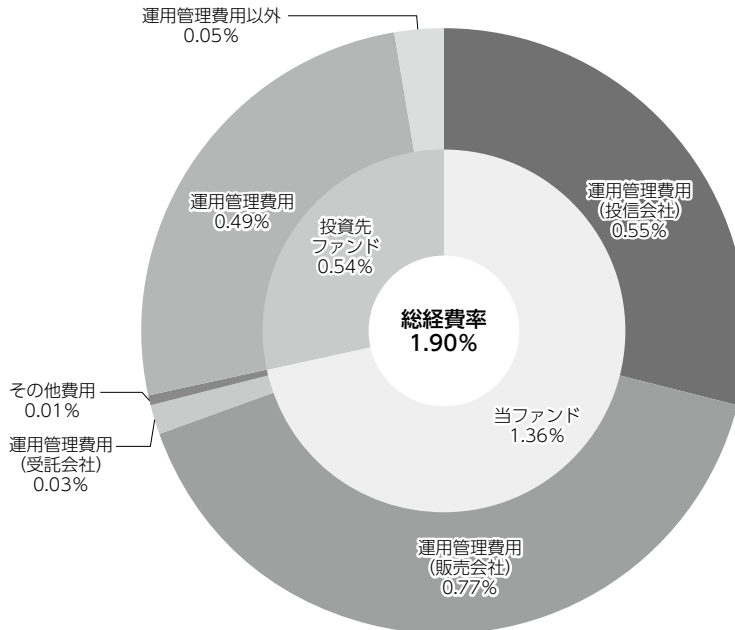
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位：%)

<b>総経費率 (①+②+③)</b>	<b>1.90</b>
①当ファンドの費用の比率	1.36
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

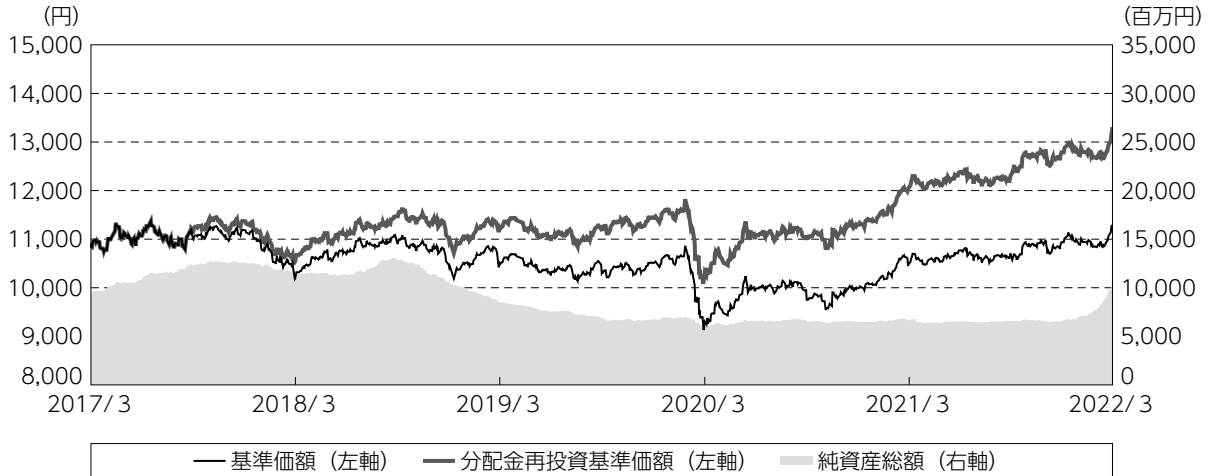
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2017年3月27日～2022年3月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年3月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年3月27日 期初	2018年3月26日 決算日	2019年3月25日 決算日	2020年3月25日 決算日	2021年3月25日 決算日	2022年3月25日 決算日
基準価額 (円)	10,907	10,183	10,422	9,130	10,447	11,201
期間分配金合計(税引前) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△ 3.4	5.8	△ 9.1	18.5	10.8
ICE BofA 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Index (円換算後) 騰落率	—	△ 2.3	10.2	△ 7.1	18.7	11.5
純資産総額 (百万円)	9,496	11,332	8,437	6,024	6,636	10,410

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) ICE BofA 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Index (円換算後) は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

## 投資環境

(2021年9月28日～2022年3月25日)

## (米国の短期ハイ・イールド債券市場)

米国の短期ハイ・イールド債券市場は、期初から2021年10月末にかけては、米国企業の2021年7-9月期決算が堅調な結果となったことなどを受けて、米国の株式市場が史上最高値を更新したことを背景に、投資家のリスク選好の動きが拡がり、上昇しました。その後は、南アフリカなどで新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株が確認されたことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落する場面もありましたが、オミクロン株の重症化リスクが比較的低いとの報道を受けて、堅調に推移しました。2022年に入ってから、米長期金利の上昇や、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めへの懸念が嫌気されたほか、ウクライナを巡る地政学リスクの高まりを受けて、投資家のリスク回避の動きが拡がり、下落しました。期末にかけては、FRBが予想通りの利上げを決定し、金融政策に対する不透明感が緩和されたことなどから反発しました。

## (為替市場)

金融政策の正常化への動きを強めるFRBと、金融政策の正常化に向けた道筋が見えない日銀との金融政策スタンスの違いが意識され、内外金利差が拡大したことや、エネルギー価格の上昇を受け、エネルギー資源を輸入に依存する日本の貿易収支が悪化するとの見方を背景に、2021年年末にかけて、ドルは対円で上昇しました。年が明けてからは、ロシアとウクライナを巡る地政学リスクが急速に高まる中、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから円買いの動きが優勢となり、ドルは対円で下落しました。しかし3月には、米連邦公開市場委員会（FOMC）で参加者の2022年末の政策金利見通しが大幅に引き上げられたことや、パウエルFRB議長がインフレ抑制のため、より積極的な利上げを行う可能性を示唆したことなどから米金利が大きく上昇したことを受けて、ドルは対円で大幅高となりました。

## (国内短期金融市場)

日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続していることを受けて、1年国債利回りがマインナス圏で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2021年9月28日～2022年3月25日)

## &lt;米国短期ハイ・イールド債券オープン&gt;

「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）」、「日本マネー・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）」を高位に組み入れて運用を行いました。

- アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）

## (債券組入比率)

期を通じて、高位の組入れを維持しました。

## (債券種別)

価格変動リスクの低減に重点を置き、BB格、B格の銘柄への投資を中心としました。業種別配分については、専門小売、ガス輸送、機械などの比率を引き下げるとともに、ケーブル&衛星テレビ、ヘルスケアサービス、投資等金融サービスなどの比率を引き上げました。

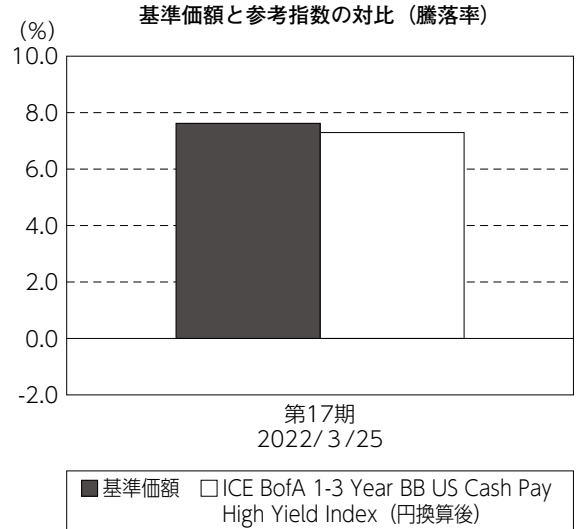
- 日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、政府保証債を組み入れました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年9月28日～2022年3月25日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、ICE BofA 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Index (円換算後) です。

## 分配金

(2021年9月28日～2022年3月25日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額としております。当期におきましては、1万口当たり180円 (税引前) の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位: 円、1万口当たり・税引前)

項目	第17期
	2021年9月28日～ 2022年3月25日
当期分配金	180
(対基準価額比率)	1.582%
当期の収益	136
当期の収益以外	43
翌期繰越分配対象額	1,402

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### (投資環境)

米国の短期ハイ・イールド債券市場は、一進一退の展開が予想されます。ロシア・ウクライナ問題が長期化し、欧米がロシアに厳しい経済制裁を加えたことで世界的な経済活動の停滞につながるのではないかと懸念が広がっています。また、依然として、FRBによる金融引き締めに対する不透明な見通しも市場の上値を抑えると想定しています。一方で、2022年1-3月期決算を控えて、企業業績に対する期待が市場を下支えすると想定します。

為替市場については、一進一退の推移を予想します。現状の緩和策を維持する日銀とFRBの政策スタンスの違いや、エネルギー価格上昇を背景とした日本の貿易収支の悪化が、ドルの対円での上昇要因と見えています。一方、足元まで急速にドル高が進んでいる反動から、一時的にドル安に振れる展開に警戒しています。

国内短期金融市場につきましては、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移が続くと予想されます。

### (運用方針)

○アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）

米ドル建ての短期ハイ・イールド債券を中心に投資し、価格変動リスクと信用リスクの低減に重点を置きポートフォリオを構築する方針です。

○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行う方針です。

## お知らせ

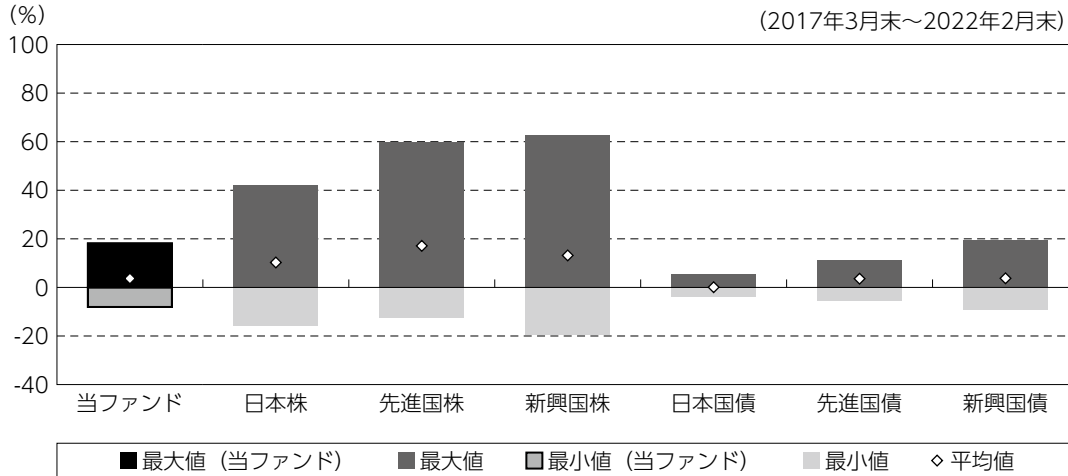
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年9月17日から2023年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券に実質的に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）および日本マネー・マザーファンドを主要投資対象とします。
	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）	米国企業の発行する米ドル建の短期高利回り社債（償還期限概ね5年以下）およびバンク・ローン（償還期限概ね6年以下）
	日本マネー・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	投資にあたっては、ハイ・イールド債券を中心に投資し、価格変動リスクと信用リスクの低減に重点を置きポートフォリオを構築します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として1年半～2年程度とすることを目標とします。なお、バンク・ローンに投資する場合があります。	
分配方針	毎年3月25日および9月25日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.1	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 8.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 5.4	△ 9.4
平均値	3.7	10.3	17.1	13.2	0.1	3.6	3.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年3月から2022年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2022年3月25日現在)

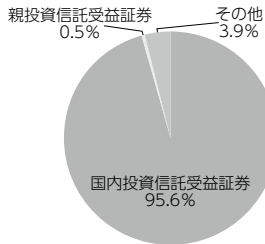
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）	95.6%
日本マネー・マザーファンド	0.5%
組入銘柄数	2銘柄

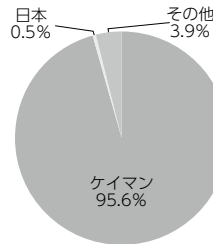
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

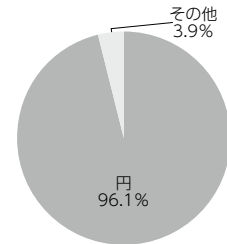
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第17期末
	2022年3月25日
純資産総額	10,410,641,012円
受益権総口数	9,294,529,071口
1万口当たり基準価額	11,201円

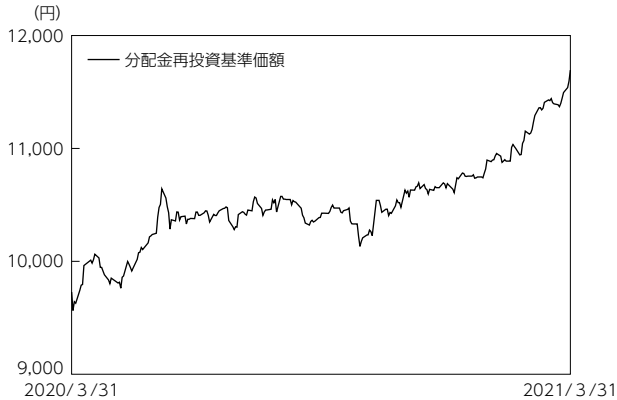
(注) 期中における追加設定元本額は4,109,456,166円、同解約元本額は1,015,540,476円です。

## 組入上位ファンドの概要

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）

※アリアンツ・グローバル・インベスターズのデータを基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

### 【基準価額の推移】



### 【1万口当たりの費用明細】

(2020年4月1日～2021年3月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

以下は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンドの状況です。

【組入上位10銘柄】

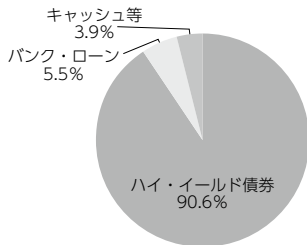
(2021年3月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別	通貨	発行国	比率
					%
1	CONNECT FINCO SARL/CONNE (SER 144A) (REG) 6.75% 01/10/2026	(ハイ・イールド債)	米ドル	複数国	3.0
2	NRG ENERGY INC (REG) 7.25% 15/05/2026	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.9
3	CVR ENERGY INC (SER 144A) (REG) 5.25% 15/02/2025	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.8
4	NEW FORTRESS ENERGY INC (SER 144A) (REG) 6.75% 15/09/2025	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.6
5	PBF HOLDING CO LLC (REG) 7.25% 15/06/2025	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.5
6	ALLIANCE DATA SYSTEMS CORP (SER 144A) (REG) 4.75% 15/12/2024	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.4
7	VALEANT PHARMACEUTICALS SER 144A 7% 15/03/2024	(ハイ・イールド債)	米ドル	カナダ	2.3
8	GLOBAL AIR LEASE CO LTD (SER 144A) (REG) 6.5% 15/09/2024	(ハイ・イールド債)	米ドル	ケイマン諸島	2.3
9	ASURION LLC TERM B6 TERM LOAN USD-LIBOR-BBA 3M+275BPS 03/11/2023	(バンク・ローン)	米ドル	米国	2.2
10	POWERTEAM SERVICES LLC (SER 144A) (REG) 9.033% 04/12/2025	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.2
組入銘柄数			104銘柄		

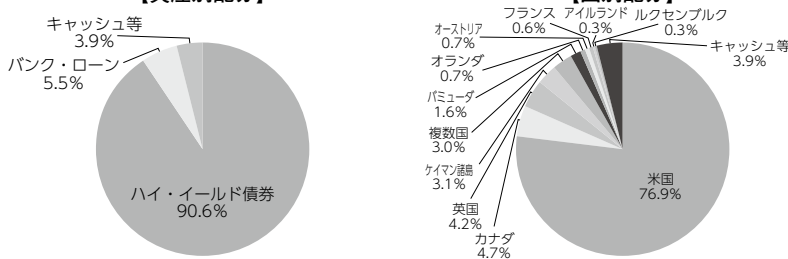
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

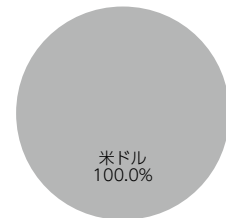
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



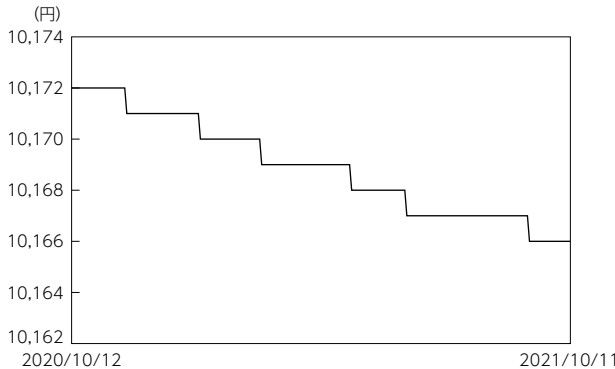
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

組入上位ファンドの概要

日本マネー・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年10月13日～2021年10月11日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.001 (0.001)
合 計	0	0.001

期中の平均基準価額は、10,168円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

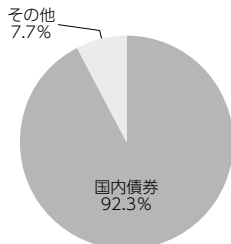
【組入上位10銘柄】

(2021年10月11日現在)

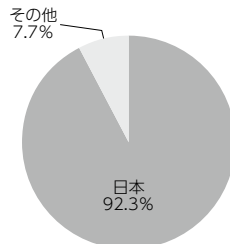
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	第155回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	27.0
2	第170回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	24.7
3	第157回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	18.0
4	第149回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3
5	第11回政府保証原子力損害賠償支援機構債	特殊債券	円	日本	11.2
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数				5銘柄	

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

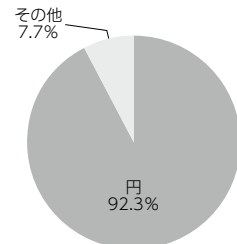
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### ＜当ファンドの参考指数について＞

ICE BofA 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Indexは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）及び／又はその第三者サプライヤーの財産であり、岡三アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。